



緩和ケア認定看護師

* 認定看護師とは高度化、専門家が進む医療現場における看護ケアの広がり
と看護の質の向上を目的として、日本看護協会が認定する資格です。



緩和ケアとは

重い病を抱える患者さんやその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアです。

緩和ケア認定看護師として、医師・看護師・薬剤師・その他コメディカルと共に患者さんやご家族の身体や心のケアを行っています。

私は平成23年に緩和ケア認定看護師の資格を取得し、現在は5階西病棟に所属しながら、緩和ケアチームの一員として活動しています。

緩和ケアが必要な患者さんやご家族とお会いして話を聴いたり、担当の医師や看護師とカンファレンスを行い、より良いケアが提供できるよう日々努力しています。

主な活動内容

- ・ 痛み・だるさ・吐き気などの体のつらい症状の緩和
- ・ 不安・不眠・気分の落ち込みなど気持ちのつらい症状の緩和
- ・ ご家族へのサポート
- ・ 療養の場の検討



病気を抱えていてもその人らしく生活ができるように援助することを大切にしています。正解がないので、しっかり患者さんやご家族の話を聞いて、色々な視点から考えていきたいと思えます。

つらい症状そのものを緩和することはもちろん大切ですが、患者さんやご家族が病気を抱えながらも、出来る限りその人らしく生活ができることを大切にしています。身体がつらい症状が全くなくなれば良いのですが、完全に症状が良くなることもあります。また、病気の告知を受け、場合によっては余命を宣告されることもあるかもしれません。そのような場合、気持ちが動揺したり、不安になったり怖くなったりすることがあると思います。心もつらくなり、今までのように生活ができなくなるかもしれません。そのような時、話を聴いたり、必要な情報を提供して、一緒にどのようにしていったら良いのか考えることで、生活や今後のことを考えたり整理したりでき、患者さん自身で決めた生活が送れるようお手伝いしたいと思っています。

患者さんだけでなくご家族も同様です。大切な家族が病気になってしまうこと、亡くなってしまうことによってご家族にもショックや戸惑い、不安などがあると思います。また、ご家族の生活が大きく変わってしまうこともあるかもしれません。患者さんに対してどのようにケアしていったらいいのか、どのように生活をしていったらいいのか、などご家族と一緒に考えながら関わっていきたくと思っています。

緩和ケアには、この方法が正解ということがありません。患者さんやご家族の意見を聞き、医師や看護師、薬剤師、その他のコメディカルと一緒に様々な視点から考えていき、より良いケアが提供できるよう努力します。



緩和ケア認定看護師
加藤 円香